AgileWorks R3

添付プレビュー
office ファイル用機能拡張ガイド

R3.3 第 1 版(2026/07/15)

ATLED

目次／索引

1. はじめに 4
1.1. 本書の目的 4
1.2. 対象読者 4
1.3. 前提条件 4
1.4. 他社登録商標について 4
2. 添付ファイルプレビューについて 5
2.1. 添付ファイルプレビューとは 5
2.2. office ファイル用機能拡張 5
2.3. プレビュー可能な拡張子 5
3. 事前準備 6
3.1. LibreOffice のインストール 6
3.2. プロパティファイル 9
3.3. office ファイル PDF 変換ジョブ 9
4. 変換に関する設定 10
4.1. 添付ファイル設定 10
5. 注意事項 11
5.1. 変換可能な文字について 11

◆ 改版履歴

版数	年月日	改版内容
第 1 版	2026 年 07 月 15 日	第 1 版作成

1. はじめに

1.1. 本書の目的

本書は、ドキュメントビューアの添付プレビュー機能の Office ファイル用機能拡張方法について説明します。

1.2. 対象読者

添付プレビュー機能の Office ファイル用機能拡張をお使いになる AgileWorks 利用者

1.3. 前提条件

- AgileWorks の基本機能と使用を理解していていること
- AgileWorks の環境がサポートされているブラウザを利用してください
- AgileWorks クラウド版(R3.2.1 以降)、またはパッケージ版(R3.2.1 以降)にて利用可能です。
- LibreOffice のインストールが必要になります。

1.4. 他社登録商標について

AgileWorks、アジャイルワークスの名称およびロゴは株式会社エイトレッドの商標および登録商標です。
Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Libre Office は The Document Foundation (TDF)の商標および登録商標です
本書では、©、®、(TM)の表示を省略しています。ご了承ください。

2. 添付ファイルプレビューについて

この章では、AgileWorks の添付ファイルプレビューについて説明します。

2.1.　添付ファイルプレビューとは

添付ファイルプレビューとは、ドキュメントビューアにて添付ファイルをダウンロードすることなく内容を確認する機能です。

2.2.　office ファイル用機能拡張

従来の添付ファイルプレビューは、PDF ファイルや画像ファイルのみしかプレビューできません。
Ofice ファイルについてもプレビューを可能とするように機能拡張します。

2.3. プレビュー可能な拡張子

機能拡張によってプレビューができるようになる拡張子は以下の通りです。

・.doc
・.docx
・.xls
・.xlsx
・.ppt
・.pptx
・.rtf

また、プレビュー可能な拡張子を制限することも可能です。
設定については「4.1. 添付ファイル設定」をご確認ください。

3. 事前準備

この章では、Office ファイル用機能拡張を使用するために必要な設定や準備を説明します。

3.1. LibreOffice のインストール

office ファイルを添付プレビュー可能なように PDF 変換するために、LibreOffice のインストールが必要になります。

OS に対応したインストーラを使用し、ジョブマネージャが動作している環境にインストールしてください。

・RHEL 10, 9, 8, 7 / Amazon Linux 2023
libreoffice_installer_linux.zip

上記 zip ファイルを解凍後、管理権限をもつユーザで Install.sh を実行すれば、インストールは完了します。

・Windows Server 2025, 2022, 2019, 2016, 2012R, 2012 / Win11

Windows 版 LibreOffice のインストール

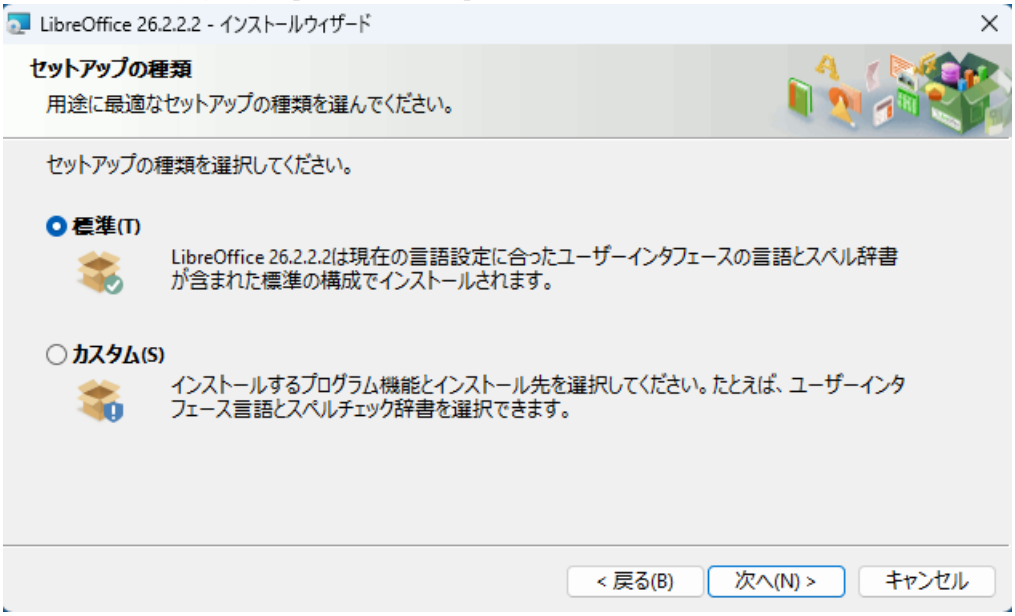
管理者権限を持っているユーザーで LibreOffice が公開しているインストーラを実行します。
（.msi ファイルを右クリック ＞ インストール）

LibreOffice_26.2.2_Win_x86-64.msi でのインストールイメージ

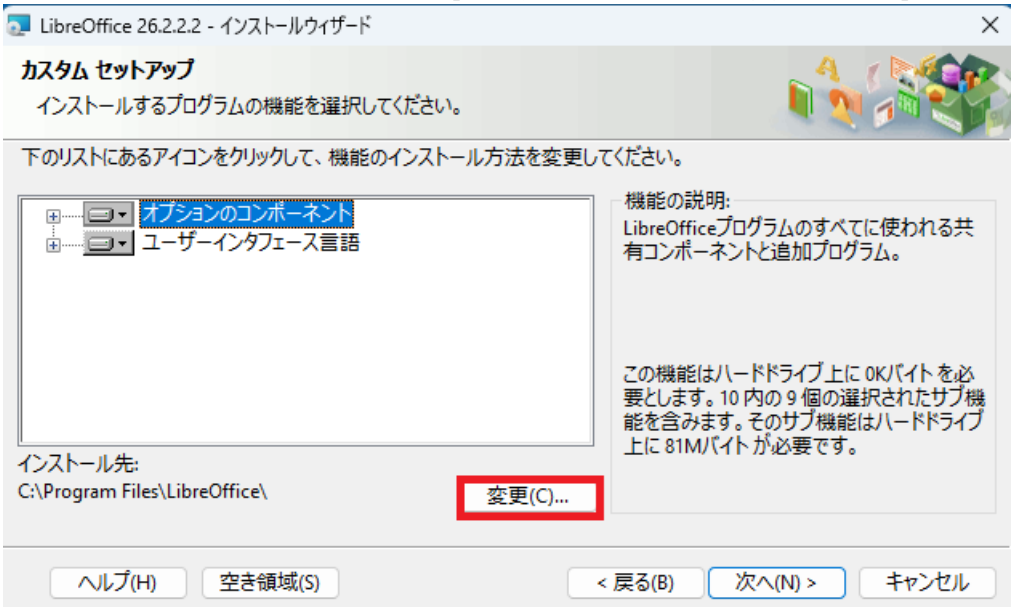
▼起動画面：「次へ」をクリック



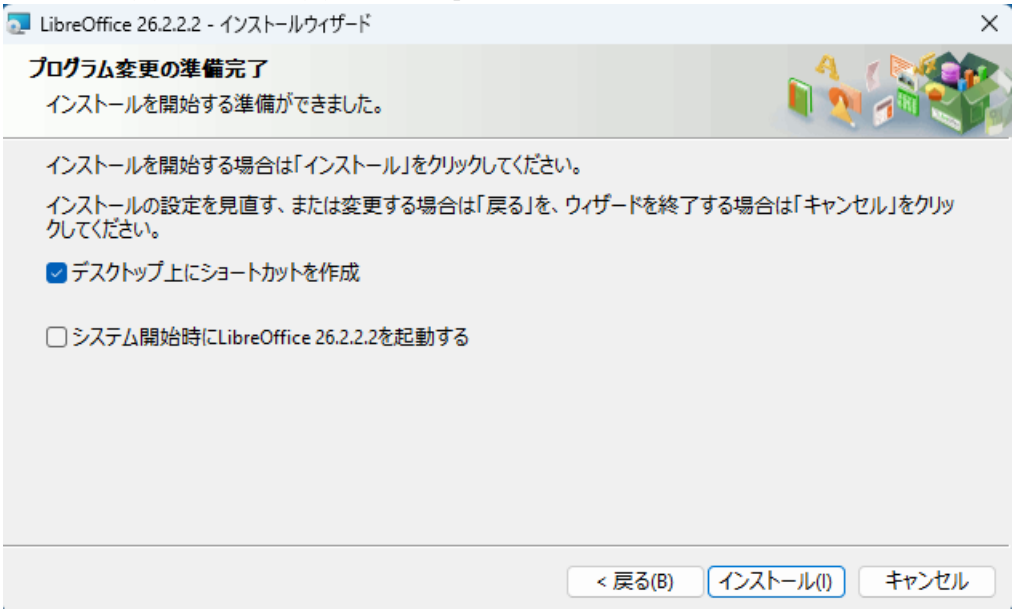
▼セットアップの種類：「標準」※のまま「次へ」をクリック



※インストール先を変更する場合は「カスタム」を選択し、インストール先を変更後に「次へ」をクリック



▼プログラム変更の準備完了：変更せず「次へ」をクリック

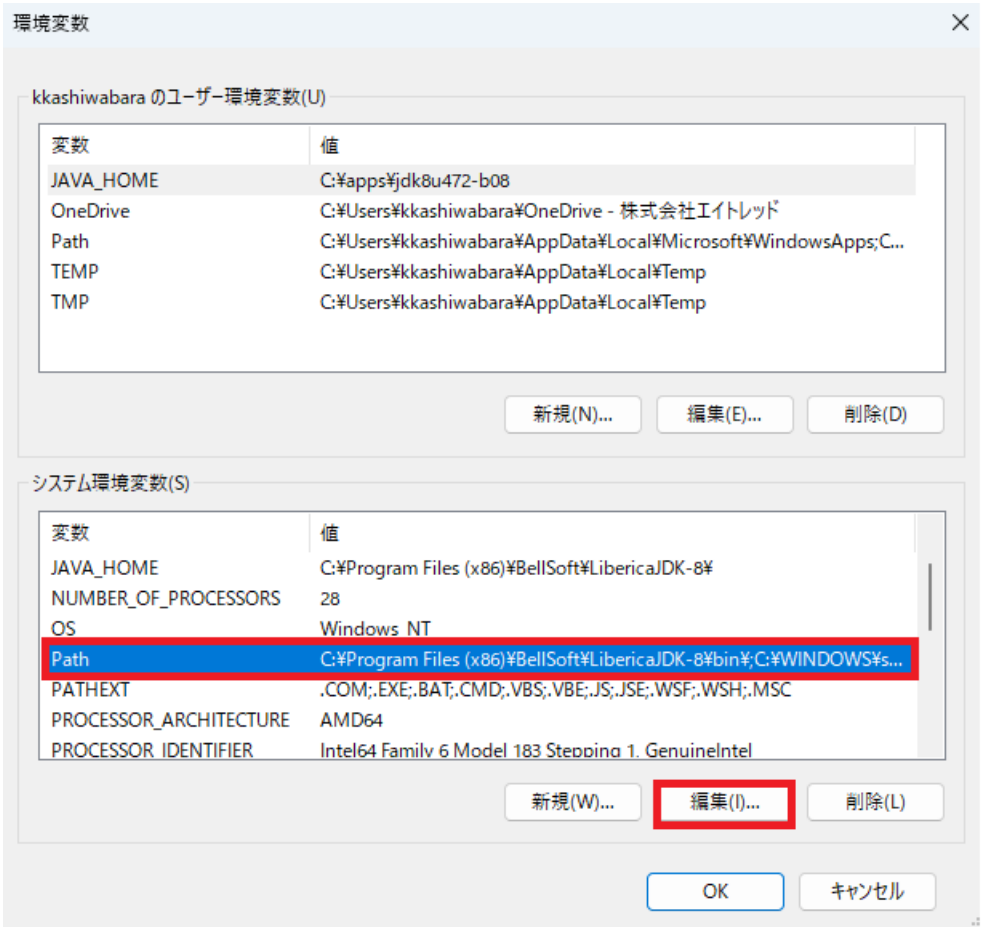


▼インストールの完了：「完了」をクリック

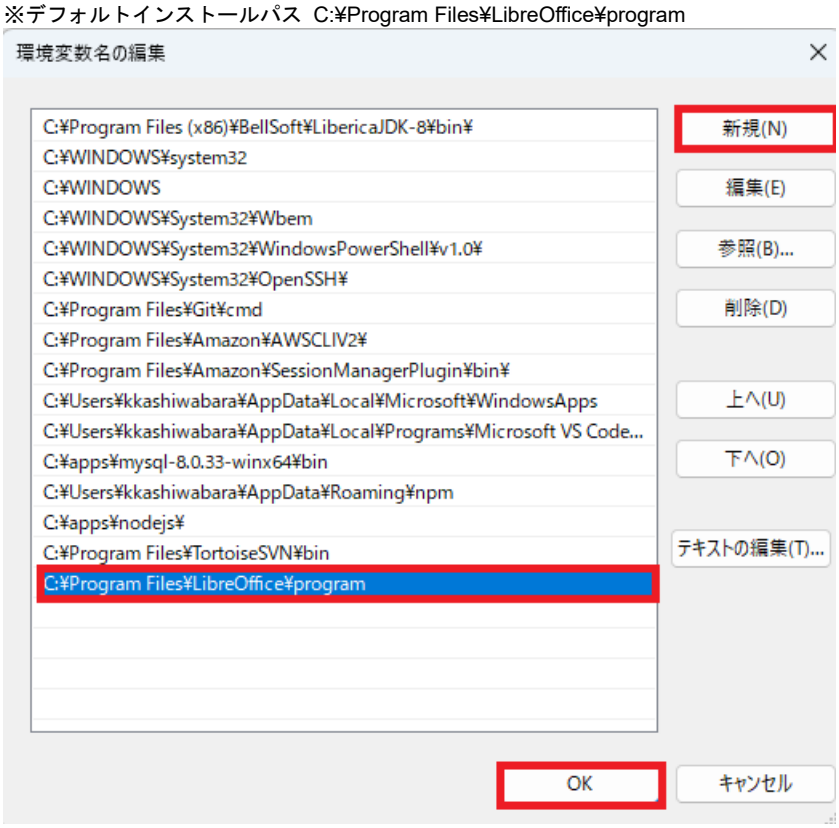


システム環境変数 Path の追加

環境変数画面からシステム環境変数の「Path」を編集します。



環境変数名の編集画面から「新規」をクリックして LibreOffice プログラムフォルダ※を追加後に OK をクリック
※デフォルトインストールパス C:¥Program Files¥LibreOffice¥program



3.2. プロパティファイル

Agileworks_system.properties に以下設定を行って下さい。

■ 対象ファイル
・AP
<Tomcat インストールディレクトリ>/webapps/AgileWorks/WEB-INF/classes/agileworks_system.properties

・ジョブマネージャ ※同梱型の場合は不要です。AP の設定のみを行ってください。
<ジョブマネージャ導入パス>/conf/agileworks_system.properties

■ 設定
・Windows

```
Upload.office.convert=true
```

・Linux

```
Upload.office.convert=true
Upload.office.convert.profile = /usr/local/agileworks/libreoffice_profile
```

3.3. office ファイル PDF 変換ジョブ

上記を行うと、管理サイトのジョブ画面に「office ファイル PDF 変換ジョブ」が表示されるようになります
本ジョブにより、office ファイルがプレビュー用の PDF ファイルに変換され、添付プレビューが可能となります。
デフォルト設定では 10 分おきに動作するようになっています。

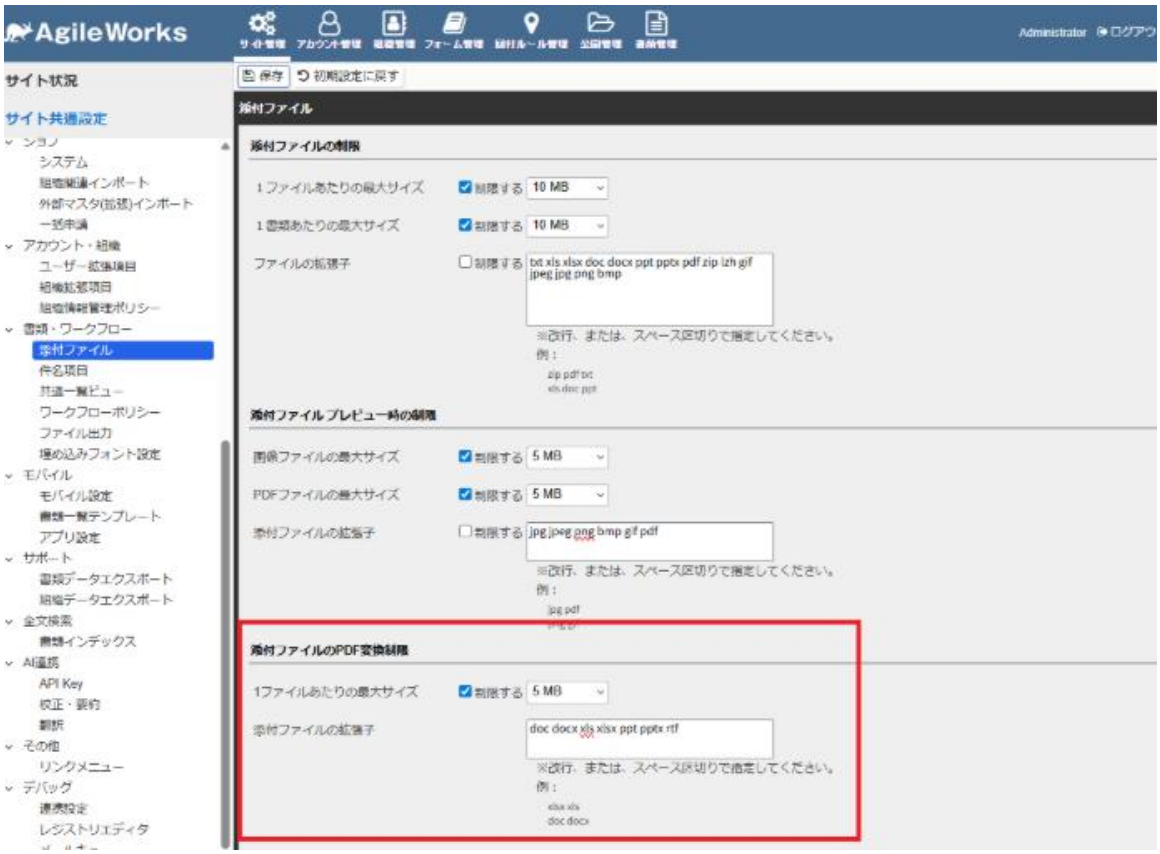
ただし、プレビュー用の変換が実施されるのは、上記プロパティファイルの設定変更後に添付された添付ファイルに限ります。

4. 変換に関する設定

この章では、変換設定について説明します。

4.1. 添付ファイル設定

管理サイトの添付ファイル設定画面にて、変換に関する設定を行えます。
変換によるサーバ負荷等で問題があれば、上限サイズや対象拡張子を絞る等で対象を制限してください



5. 注意事項

この章では、注意事項について説明します。

5.1. 変換可能な文字について

LibreOffice で変換を行う際、変換する文字のフォントファイルが OS にインストールされている必要があります。
特に Linux 環境での日本語フォントは、デフォルトでは使用できない場合が多くあります。
Office ファイルのプレビュー時に文字が正常に変換されていない場合は、該当のフォントについて、フォントファイルがインストールされているか確認し、必要に応じてインストールしてください。

クラウド環境では以下の日本語フォントは使用可能であることを確認しています。

- ＭＳ ゴシック
- ＭＳ 明朝
- ＭＳ Ｐゴシック
- ＭＳ Ｐ明朝
- MS UI Gothic
- メイリオ
- Meiryo UI
- 游ゴシック
- 游明朝
- Yu Gothic UI
- UD デジタル教科書体 N-R
- UD デジタル教科書体 N-B
- UD デジタル教科書体 NP-R
- UD デジタル教科書体 NP-B
- UD デジタル教科書体 NK-R
- UD デジタル教科書体 NK-B
- BIZ UD ゴシック
- BIZ UD 明朝
- BIZ UDP ゴシック
- BIZ UDP 明朝
- ヒラギノ角ゴシック
- ヒラギノ角ゴ ProN
- ヒラギノ丸ゴ ProN
- ヒラギノ明朝 ProN
- 筑紫 A 丸ゴシック
- 筑紫 B 丸ゴシック
- 凸版文久ゴシック
- 凸版文久明朝
- 游教科書体
- クレー
- Osaka